

大使公邸における「食と農を語る夕べ」レセプション（米国・ワシントンDC）

開催日： 平成28年6月16日

場 所： 在米大使公邸

主 催： 在米大使館、全国農業協同組合中央会、農畜産業振興機構

在米大使館

【イベント概要】

J Aグループ、大日本水産会等の協力を得て、和牛、日本産米、ブリ等の日本食材を活用した多様な和食、日本酒、ジャパニーズウイスキー等を紹介。本レセプションには、食に関する米政府・議会・業界関係者の他、ケリー国務長官のシェフを含め、約170名の出席者があった。

また、当地の人気日本食レストラン経営者より、東京、九州及び北海道の食文化について自身が製作したプロモーションビデオ（米国公共放送ネットワークで放映予定）の紹介を行った。



【参加者の反応】

和牛の特徴である脂肪交雑の美しさ、また、独特の柔らかさについて、ファンタスティックと感嘆の声があがった。また、我が国で最も評価が高い魚沼産コシヒカリや、日本から空輸された新鮮な水産物を食するのは、貴重な経験との反応があった。

日本酒には、純米大吟醸等のグレード、生産県や銘柄による味の違いについて多くの質問があった。また、日系ウイスキーメーカーが米国で行っている直接投資についてその貢献を再認識したとの反応があった。

